

おだやかな 波打ち際の砂の上

二つの足跡 残してく

母と二人で遊んだ日

寄せては返す 白波が

砂のキャンパス かき消した

地面が揺いだ あの日午後

段々白波 やつてきた

返すことのない 大波が

次々寄せて のみこんだ

ぼくの住む街 のみこんだ

見る見るうちに 白波が

押し寄せるごとに 水濁し

見たこともない 黒波が

ぼくの住む街 のみこんだ

高台から 街見下ろした

ぼくが好きな この街を

ようやく引いた 黒波が

すべて 彼方へ持ってった

大切なもの 持ってった

入園式の 記念写真

金賞もらった あの絵画

新しいノートも 鉛筆も

大切なもの 持ってった

いつか歩く 砂の上

二つの足跡 残してく

ぼくらの足跡 残してく

寄せては返す 白波と

大切なもの 教えるため

大波

坂本恭介 岩手県大船渡市在住

梅川紀美子 ● 絵

